

**2019 年度「地質の日」記念企画展
「失われた川を尋ねて『水の都』札幌」のご案内**

今年の「地質の日」展示は、4月27日（土）から6月16日（日）まで北海道大学総合博物館で開かれます。今回の展示のテーマは「失われた川を尋ねて『水の都』札幌」です。

当協会はこの行事の共催団体となっています。

今回の展示の趣旨は次のとおりです。

「都市にはそれぞれの川があります。街は三角州や扇状地のように身近に豊富な水があるところに誕生するからです。札幌は豊平川・琴似川などの扇状地に発達し、川は開拓使時代以前から人々の生活に欠かせないものでしたが都市化とともにこれらの川は失われてしまいました。

本展示では、扇状地の川と泉・北大周辺の「失われた川」を解説し、札幌のかつての自然と風景、そこに暮らした人々について考えます。」（企画展示ポスターより）

合わせて、関連市民セミナー、市民地質巡検も行われます。

市民セミナーでは 第一回； **水の都「札幌」—コトニ川を尋ねて**、第二回；**「水の都」その誕生と消滅 ～身近に残る水の痕跡** と題して、専門家にお話しいただきます。

また、市民地質巡検では **街中ジオ散歩 in Sapporo「コトニ川を歩く」** をテーマに徒歩で巡検します。

150 年前から始まった開拓によってすっかり都市化が進んでしまった札幌ですが、注意して見るとかつての川の痕跡が見つけれられることもあります。これを機会に開拓時代以前の札幌の姿に思いをはせていただけたらと思います。

【地質の日とは】

地球生命史、地球環境、自然災害などを理解するうえで重要な「地質」を、社会的に広く理解・認知してもらうために、関連学会や団体が発起人となって 2007 年に制定された日で、5 月 10 日。この日は、“お雇い外国人” 米国の地質学者ライマン (B. S. Lyman 1835～1920) らが、1876 (明治 9 年) 年に日本で最初の地質図「縮尺 200 万分の 1 の日本蝦夷(えぞ)地質要略之図」を刊行した日に当たり、それにちなんで制定された。

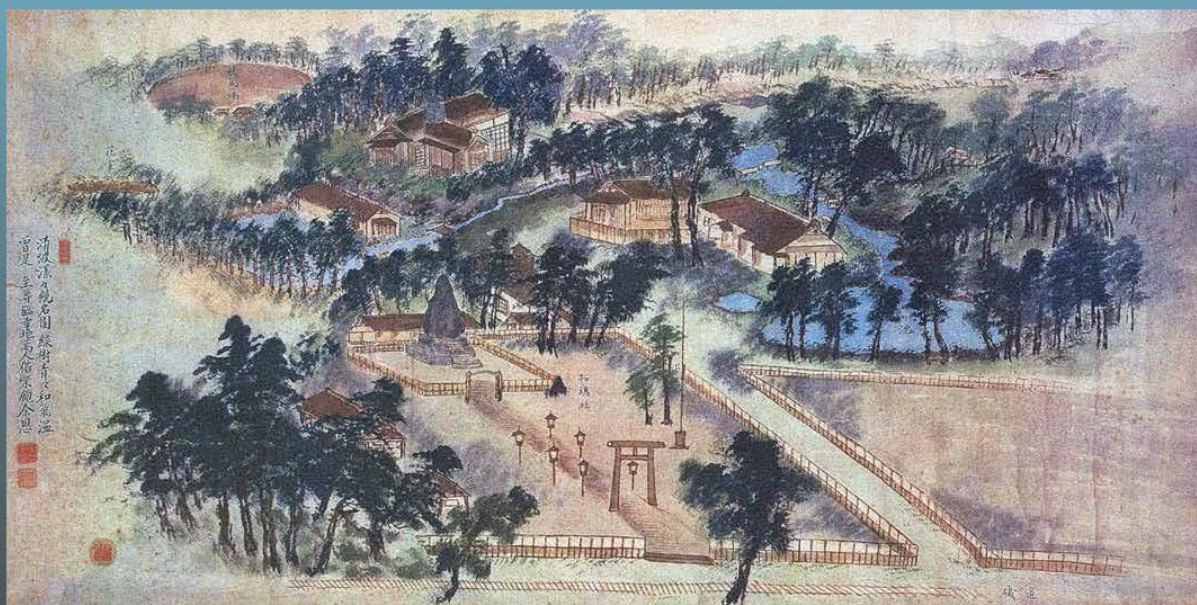
(知恵蔵 2015 より)

失われた川を尋ねて 『水の都』札幌

2019年4月27日（土）～6月16日（日）

10：00～17：00（6月の金曜日は21：00まで）

月曜日休館（祝日の場合は翌日休館）



借来園之図：札幌市公文書館所蔵

入場無料

会場：北海道大学総合博物館 1階 企画展示室

都市にはそれぞれの川があります。街は三角州や扇状地のように身近に豊富な水があるところに誕生するからです。札幌は豊平川・琴似川などの扇状地に発達し、川は開拓使時代以前から人々の生活に欠かせないものでしたが、都市化とともにこれらの川は失われてしまいました。

本展示では、扇状地の川と泉・北大周辺の「失われた川」を解説し、札幌のかつての自然と風景、そこに暮らした人々について考えます。



〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
TEL：011-706-2658
<https://www.museum.hokudai.ac.jp/>

関連イベントのご案内

市民セミナー

会場：北海道大学総合博物館 1 階「知の交流」ホール
備考：申込不要・入場無料・道民カレッジ連携講座

*第一回「水の都」札幌—コトニ川を尋ねて

5月11日(土) 13:30～15:00 **土曜市民セミナー**

宮坂 省吾 (北海道総合地質学研究センター)

*第二回「水の都」その誕生と消滅 ～身近に残る水の痕跡～

6月9日(日) 13:30～15:00

古沢 仁 (札幌市博物館活動センター)

市民地質巡検

街中ジオ散歩 in Sapporo 「コトニ川を歩く」

コース：北大正門から西へ→桑園駅東→西11丁目(石山通)
→大通西8丁目「鯨の森」

日時 5月25日(土) 10:00～16:00 少雨決行

集合：10:00 北大正門前(札幌市北区北8条西5丁目)

解散：16:00 中央区大通西8丁目

定員 高校生以上20名(先着順)

参加費 500円(資料代・保険代など)

案内人 宮坂 省吾 (北海道総合地質学研究センター)

内山 幸二 (山の手博物館)

備考 昼食や飲み物、雨具をご持参ください。

ハイキングに適した服装・履物でお越しください。

申込方法 往復はがきに①氏名 ②住所 ③年齢 ④電話番号を記入の上、
北海道大学総合博物館「巡検係」宛にご郵送ください。

5月17日(金) 必着